

2018年度3学期 聴講のための授業科目のご案内

曜日	科目名	講師・教師	授業内容
火曜日	ギリシャ語釈義① (統語)	小澤 和男師	ギリシャ語の初級文法を学んだ学生は、新約聖書の原文にあたりながらワレスの中級文法書を用いてより深くより正しく読む知識を積み重ねていきます。
	キリスト教会史③	菜花 和男師	通年)教会はどこから来て、どこに立ち、どこに行こうとしているのか、「キリスト教2000年史」をテキストに、古代・中世・近現代を一年で学ぶ。温故知新。歴史を鑑とする。
	ローマ書	小澤 和男師	難解と思われているローマ書ですが、パウロが用いている救いに関する動詞を手がかりにして全体を整理しながらキリスト者の苦しみと神による励ましに目を留め、さらには自分の姿を振り返ります。
水曜日	ヘブル語文法①	松元 潤師	旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。初めての方は「今学期」からご参加ください。
	教理史	吉永 光生師	カルケドン公会議までの4つの公会議と、その流れの中から生み出された信条を通して教理発展の歴史を学び、今日のキリスト教信仰の理解を深めます。
	旧約聖書通論③	吉田 浩二師	通年)創世記から小預言書までを3学期かけて学びます。各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。
	ヘブル語釈義①	松元 潤師	ヘブル語文法を学んだ方が受講できます。神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。テキスト:Williams' Hebrew Syntax
木曜日	教会音楽 I (神学基礎)	遠藤 稔師	教会で使われる音楽、そして歌の内容について聖書を通して神様は私たちに多くのことを教えてくださっています。聖書が教える教会音楽について、ひたすら聖書から学び分ち合うクラスです。初めての方でも参加できます。
	獄中書簡	松元 ハンナ師	パウロの獄中書簡と言われるものの中から、喜びの手紙と言われるピリピ人への手紙を学びます。苦難や試練の中でも失われることのない信仰からくる喜びとはどのようなものか、各人の人生に適用して共に考えます。
	異端・弁証論	吉永 沙織師	キリスト教信仰が確かな根拠に基づいていることを学ぶとともに、キリスト教信仰に対抗する考え方、世界観をもつ人々に、私たちのもつ希望について弁明できるようになることを目指します。
金曜日	聖書地理	吉田 麻希子師	聖書の時代のイスラエルの地理や文化を学ぶことを通して、より聖書を立体的に理解することを目標とします。参考書として、ニック・ページ「バイブルワールド」(いのちのことば社, 1,600円+税)を用いますのでご用意ください。
	出エジプト記	M.ヴィッドマー師	旧約聖書中最も重要な書と呼ばれることもある出エジプト記を学びます。主なテーマは、神の御名と神の力の啓示、契約関係(十戒、律法)イスラエルのリーダーシップ、幕屋と犠牲の関係等。
	I コリント	中川 昭一師	コリント教会は多くの問題を抱えた教会でした。同時にそれはいつの時代の教会にも共通する問題です。コリント書を通して、“教会”を考えます。
	新約聖書緒論	杉本 潤師	「新約聖書が27巻に至った歴史を見、本文 批評やギリシャ語の構造分析を通して新約聖書を神のことばとして正しく受け取る方法を学びます。(初級ギリシャ語文法を習得した人が履修できます)」
土曜日	新約聖書通論③	吉田 麻希子師	通年)新約聖書の各書巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。
	ヘブル語釈義③	松元 潤師	文法を学んだ方が受講できます。神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。創世記14章より

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。

(聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回)

複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。